

授業改善等に関する報告書（2020年後期）

授業アンケートへのフィードバック

平成 28 年度より、学内で使用されている LMS (Lerning Management System) manaba 上で学生が回答した授業アンケート内容に対し、教員がコメントする形式を採っている。

次ページ以下に、それらの「授業アンケートへのフィードバック」をまとめて掲載し、授業改善等に関する報告とする。

[2020（後期）人間社会学科 現代社会学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
社会と統計	竹内 光悦	<p>この手の無記名のアンケートと授業内の記名式のアンケートのギャップを強く感じます。回収率を考えると、回答者属性が異なるように感じます。今回の回答者においても、ポジティブ意見とネガティブ意見が真逆にあり、対応は難しいところです。特に respon の多さを指摘する人もいればちょうどいいという人もいますし、課題へのコメントが欲しいとありましたが返していませんし、動画が多いという人もいれば、それで短くなり見やすかったという人もいます。対面・双方向がいいという人もいれば、オンデマンドでよかったという人もいます。</p> <p>授業する側として、課題の結果を見ますと、おおむね良かったように思います。特に対面時の一緒にの教え合いができなかった点は残念ですが、おしゃべりが全くなかったことはとてもいいことと感じました。また全体的な意見を見渡せばおおむね肯定的な意見が多いように思います。少数の否定的意見をどう採用するかは悩ましいですが、次年度に向けて考えたいと思います。</p>
フィールドワーク論	高橋 美和	<p>新科目でしたが、各ポイントで平均値かそれを上回る結果となり、ほっとしています。コロナで緊急事態宣言が出る前に、観察・インタビューなどの実習課題を実施できたことはラッキーでした。その体験が今後生きるだろうというコメントを嬉しく読みました。最後のグループワークと発表も、各グループも苦心・工夫のあとが認められ、素晴らしかったです。</p>
演習 I	駒谷 真美	<p>この講義はグループワークがメインで、前半は「命を教える授業」についてのディベート、後半は「コロナ×Z世代」についてのプレゼンを行った。1年生ではかなり深慮する高度な内容であったにも関わらず、理解度は86%、自らの成長実感度は94%を示しており、学生自身の達成感につながったと思われる。全体の94%が、双方向やパワポハンドアウト、シラバスと目標の一致、わかりやすい説明、聞き取りやすさを認めてもらったのは、大変な難い。</p>
演習 I	粟津 俊二	<p>平均値が低い項目はQ13「この科目をさらに専門的に学びたいを思いましたか？」ですが、当科目には設問自体が不適切でしょう。Q13とQ14（学生自身の自己採点）以外は平均値が4.程度以上であるため、授業方法等に特に問題は無いと考えます。なかなかヘビーな課題をしてもらいましたので、平均学習時間もそれなりに長くなっています。皆さん、なかなか頑張ったと思います。</p> <p>コメントの中に「授業内容の公開期間を授業開始日の前日に設定して欲しい。授業内容の資料を授業前に印刷して予習できる。授業当日に先生が話した内容をメモしながら授業を受けることで、授業の内容が理解しやすくなる」というものがありました。その通りですね。双方向でも対面でも、そうするようにします。</p>
演習 I	金津 謙	<p>貴重なご意見ありがとうございます。今後の授業進行に役立てたいと思います。</p>
英語コミュニケーションⅡB	阿佐美 敦子 ライト,アレックス	<p>リモートという不慣れた環境下、熱心に授業を受けていただいたと思います。こちらからは皆さんの疑問点をすぐに察知し、その場で説明することができませんでしたが、メールのやり取りで、ある程度は補えたかと思います。結果として、8割を超える方が自身の成長を実感できたと回答し、9割を超える方が授業に満足したと回答してくださり、有り難く思います。来期はさらに工夫をして、より分かり易い授業展開を心掛けたいです。</p>
女性心理学	竹内 美香	<p>「女性心理学」では青年期の「自己開発」途上にある皆さんが、女性としてこれからの生涯をどのように生きるか・人を愛して・自身の人生を満足して過ごすこと、WHOの健康の定義における「well-being」をその時、その時、どのように実現するか、しかもそれを自分の力で……。そのことについて、一緒に考えてきました。</p> <p>2020年度は後期も新型コロナウイルス感染症対策下でオンラインでの授業を展開することとなりました。初めての試みとして、事前資料配布、受講者が課題に取り組んで準備した後に、双方向授業を実施して学習のインプットを説明する形式を執りました。昨今、効果が期待されている「反転授業」という形式です。受講生の評価（学びの満足感）も、対面授業実施の例年と比較しても特に抑制されている様子もなく、担当としては安堵しました。「毎回の学びシート」は電子提出にすることでシステム化できました。また時々、既存の学術論文やコラム記事なども教材として使って課題を課しましたが、受講生は熱意をもって取り組んでいたと思います。毎回提出されるシートの内容は充分で、レポートとしても価値が高かったと言えます。</p> <p>2020年度は、遠隔会議システムを活用して産婦人科専門医の先生をゲストにお招きすることができました。女性の心と身体全般的健康とライフプランについて受講生からも多くの感想や、さらなる学びへの意欲が振り返りシートで示され、授業実施者としては満足しました。</p> <p>今回、回答してくださった学生諸姉には心から感謝いたします。回答者のほとんどが、ほぼ「この授業に満足した」と答えています。遠隔型の授業でもどうか責任が果たせたかと、安堵しています。</p>

[2020 (後期) 人間社会学科 現代社会学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
英語コミュニケーションⅠ	阿佐美 敦子 ミラー, ブルース	リモートという不便な環境下、熱心に授業を受けていただいたと思います。こちらからは皆さんの疑問点等をすぐに察知し、その場で説明することができませんでしたが、メールのやり取りで、ある程度は補えたかと思えます。結果として、7割を超える方が自身の成長を実感できた、授業に満足したと回答していただき、有り難く思います。一方で、どちらとも言えないとの回答が2割いらっしゃいました。来期はさらに工夫をして、より分かり易い授業展開を心掛けたいです。
英語コミュニケーションⅠ	阿佐美 敦子 シオティーノ, アン	リモートという不便な環境下、熱心に授業を受けていただいたと思います。こちらからは皆さんの疑問点等をすぐに察知し、その場で説明することができませんでしたが、メールのやり取りで、ある程度は補えたかと思えます。結果として、8割を超える方が自身の成長を実感できたと回答し、9割を超える方が授業に満足したと回答していただき、有り難く思います。来期はさらに工夫をして、より分かり易い授業展開を心掛けたいです。
英語コミュニケーションⅠ	マルチェフ, ミレン・アンゲロフ 時田 朋子	オンデマンド方式による必修英語の授業でしたが、自己の成長を実感できたという回答が多く、大変嬉しいです。理解できないことがあれば、遠慮せずに質問してください。
英語コミュニケーションⅡB	ミラー, ブルース 時田 朋子	必修英語の授業ですが、さらに学びたいという回答率が高く大変嬉しいです。オンデマンド方式の授業で大変だったかもしれません。何かあれば、遠慮なく質問してください。
演習ⅢB	篠崎 香織	前後期ともZoomでの実施になり、ゼミ生同士の交流が制限されましたが、ビジネスコンペティションへの参加、グループワークを通して、対面で行うゼミと変わらない関係が形成できたように思います。 次年度は卒業研究が始まりますので、ぜひ引き続き積極的に意見交換をしながら、各自のテーマを進めてください。
演習ⅢB	高木 裕子	コロナ禍でZOOM授業となりましたが、対面授業に向けて、ハイブリッドでもうまくできるように改善致します。
演習ⅢB	金津 謙	貴重なご意見ありがとうございます。今後の授業進行に役立てたいと思います。
英語コミュニケーションⅠ	グティエレス, ティモシー 時田 朋子	時間をかけて予習復習をして授業に臨み、理解を深めたことがわかり大変嬉しいです。オンデマンド方式であり大変なことがあったかもしれません。何かあれば、遠慮せずに質問してください。
メディア心理学	駒谷 真美	コロナ禍でも全項目において、全体平均と当該区分平均を大きく上回る評価であり、大変嬉しく思っている。何より74人の大人数ながら、積極的に学ぼうとする姿勢はZOOMからも十分伝わってきた。その結果、96%が自身の成長を実感し、81%が専門的に学びたいと思ひ、96%が講義に満足していた。100%がシラバスと到達目標の一致、ハンドアウトのわかりやすさ、99%が説明のわかりやすさと聞き取りやすさ、97%がスピードの適切さ、88%が双方向による発見を見せてくれたのは、今後の講義にも大変励みになる。
データベース基礎	竹内 光悦	おつかれさまでした。本講義では Access など、これまでに触ってこないソフトウェアを使うため、悩ましい人も多かったかと思えます。ただオンデマンドの特性として繰り返して見れることを活用しているようでしたので、この点ではオンデマンドでよかったように思います。 感想をみましても好意的な意見が多く、ほっとしています。初めての動画での最終課題でしたが、こちらもよかったと思えます。 COVID-19 でさまざまなことがこれまでとは異なる状況になりましたが、みなさん、頑張りましたね。次年度以降も引き続き、頑張りましょう。
演習ⅢB	栗津 俊二	回答者数1というのは、さすがの栗津ゼミ生という感じです。問題があれば、直接言うだろう、と思ってます。
演習ⅢB	原田 謙	総合評価は4.6を超えていました。 オンライン授業が中心でしたが、皆さん良く頑張りました。 卒論の準備もよろしく願います。
演習ⅢB	広井 多鶴子	前期に引き続き、zoomでのオンデマンド授業でしたが、みなさんちゃんと出席し、よく課題に取り組んでくれました。その分、授業評価もかなり高くなっています。自信を持って、卒論と就活に取り組んでもらいたいと思います。

〔2020（後期）人間社会学科 現代社会学科〕授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
演習ⅢB	谷内 篤博	授業評価の結果から、ゼミ生諸君はゼミに対して満足しているようで、ゼミをを通じて多くの学生が成長したと実感している。これは教える側にとっては大変喜ばしいことである。
演習ⅢB	標葉 靖子	後期は卒論のテーマに向けた検討も始まり、グループ学習と個別学習が増えましたが、みなさんそれぞれのテーマだけでなく他のメンバーの卒論テーマにも関心を持って課題に取り組んでくれていたと思います。個別面談やゼミ、slack等でこまめにフィードバックを行って行きたいと思しますので、何かあれば遠慮せず直接質問・意見等ください。
財政論	大澤 美和	(2020年度) 理解度および学生の満足度については概ね良好だと思えます。 2021年度もオンライン講義が予定されているため、授業の進行速度やパワーポイント資料等に注意を払いながら、受講生に興味をもってもらえる講義を心掛けたいと思えます。
演習ⅣB	篠崎 香織	前後期ともゼミはZoomでの実施になり、卒業研究を進める際にみんなから意見をもらいにくいところがあったと思います。 そのような中で、各自が自分の設定したテーマで卒論を書き切ることができてよかったです。 お疲れ様でした。
演習ⅣB	高木 裕子	コロナ禍でのZOOM授業による指導となりましたが、何とかここまで卒論が仕上げられ、よかったと思っています。
人体の構造と機能及び疾病	塩川 宏郷	解剖学的な内容は図表を参照することが必要ですが、配布資料では著作権の問題もあって十分な内容ではありませんでした。必要に応じてウェブサイトなどを参照しながら学習できるように今後していきたいと思えます。
メディア表現論	駒谷 真美	この講義では、毎回履修生がグループワークでメディアテキストを制作している。本年度は、本学初の人間社会学部学科紹介のデジタルブック制作に挑戦した。メディアのプロの方々から指導を受けながら、企画段階から高校生にアンケートを実施し方向性を検討し、企画発表会を行い、中間合評会・最終合評会を経て完成まで、全てZOOMとSNSとデジタルブック専用サイトで行う、最先端の画期的な取り組みでもあった。シラバスで明記した通り、通常の講義に比べて、自分たちのチームの課題を一つひとつ解決していくため、かなりの自習時間を要したと思われる。しかしその負担や学部デジタルガイドブックというプレッシャーを跳ね除け、学生による学生のための学生目線に徹した斬新なガイドブックが誕生した。この成果が、アンケート結果にも如実に表れている。回答者の100%の自己成長実感度と自己採点、91%の理解度、86%の満足度として表出していた。加えて、全員がシラバスと到達目標の一致、ハンドアウトのわかりやすさ、聞き取りやすさを認めてくれて、特に双方向の工夫をかなり高評価してもらえたので、ZOOM・LINE・Google Driveを駆使したアクティブラーニングのchallenging projectとして成果が見られたと、心から感謝している。
演習ⅣB	標葉 靖子	回答者が少ないですが、COVID-19の影響で色々制約があるなか、みなさんそれぞれの卒論テーマに真剣に向き合って頑張ってくれていたと思います。卒論研究は、当該テーマに関わるだけでなく、物事を俯瞰する力、計画を立てながら状況に応じて柔軟に対応していく力、他のメンバーと協力して支え合う力、すべての基盤となる思考力など、社会に出てからも役に立つ力の涵養につながるものです。そのことを実感してくれた学生が一人でも多くいることを願っています。
演習ⅣB	粟津 俊二	全項目(学生自身の自己採点除く)の平均値が3.5程度以上であるため、授業方法等に特に問題は無いと考えます。zoomで聞き取りにくいところがあったのが、難点ですね。ゼミはやはり対面が良いと思えます。
演習ⅣB	原田 謙	ゼミ合宿が開催できなかったのは残念でしたが、皆さん、とても良い卒論を仕上げました！
演習ⅣB	広井 多鶴子	みなさん卒論に真剣に取り組んだ結果だと思えます。回答者全員が授業を通して成長が実感できたと答えています。卒論発表も、きちんと自分の意見を発表することができたと思います。今年はわりと余裕をもって、卒論の提出ができましたが、やはり12月に入る前に一通り書き上げるよう指導する必要があると改めて実感しました。
演習ⅣB	谷内 篤博	演習ⅣBは卒論指導が中心となり、やや個別的な指導の色彩を帯びるが、Zoomや対面で他の学生の指導も見れることで、自分の成長度合いがわかる。切磋琢磨できることが学生の成長につながっていると思われる。

【2020（後期）人間社会学科 現代社会学科】授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
簿記論Ⅱ	蔣 飛鴻	今回はリモート授業のため、例年の対面授業よりかなり低い評価となっている部分があります。この点について反省し、今後双方向の授業の回数を増やして、授業の進め方を改善していきたいと思ひます。ご回答どうもありがとうございました。
司法・犯罪心理学	和智 妙子	アンケートの回答、ありがとうございました。 各設問に高得点をつけて頂いた方が多く、皆さんがおおむね授業に満足して下さったようでよかったです。 今回のアンケートではなく、授業の感想について、話すペースが少し遅かったという意見が多かったですが、オンデマンドということで、意識をしすぎて遅くなってしまったので、今後は改善したいと思います。また、動画のアップの日や課題（小テスト）の締め切り日について、少しわかりにくかったという意見もありました。動画のアップは、講義予定の前の週の水曜日の夜10時にして1週間勉強できる時間をあげ、課題の締め切り日は、講義予定の火曜日の夜としていましたが、全員がそれに間に合わない場合は、締め切りをしていなかったの、わかりにくかったかもしれません。今後は、予定した時間に締め切りしたいと思います。
行政法	金津 謙	貴重なご意見ありがとうございます。今後の授業進行に役立てたいと思ひます。
演習Ⅰ	松浦 常夫	後期唯一の対面授業ということで皆さん満足したようでうれしかったです。
演習Ⅰ	竹内 光悦	半期でしたが、お疲れさまでした。感想をみても、これまででは学べなかったことを学ぶ機会にもなったようで、よかったですと思ひます。 もちろんゼミなどは対面がいいと思ひますので、次年度以降は感染防止に気を付けながら進めたいですね。
演習Ⅰ	原田 謙	スピード、双方向授業の工夫、配布資料のわかりやすさ、聞き取りやすさの評価は、すべて4.6点を超えており、総合評価も4.5点と比較的高評価でした。とくに、レジュメの作成やプレゼン方法など「自分の成長」を実感してくれたようです。ぜひ学んだ方法を、他の授業でも活かしてください。
演習Ⅰ	井上 綾野	コロナ禍において、オンラインと対面とのハイブリッド授業でご迷惑をおかけしたことも多々あったかと思ひますが、それぞれの学びの場を作ることができてよかったと思ひます。
演習Ⅰ	数野 昌三	2020年度「演習Ⅰ」は、環境の変化により、例年のグループ発表と異なり、リモートにより、個々人でテーマを設定、問題点を発見、諸問題解決への対処方法を調査、レジュメ作成、発表という作業を各人3回実施しました。同様のテーマで3回発表し深掘りしていく作業は、自分自身の理解を一層深め、聞く側にとっても理解しやすい発表となりました。 本演習において努力した学生は、その努力が必ず上級学年において役立つことを願っています。
演習Ⅰ	神山 静香	「説明のわかりやすさ」、「双方向授業の工夫」、「授業を通じた成長」、「授業の満足度」等で回答者全員（100%）から肯定的な評価をいただきました。特に、「授業を通じて成長が実感できたか」という質問に回答者全員から肯定的な評価をいただき大変嬉しく思ひました。「ディベート能力や意見をもち、相手に伝える力が身についた」、「客観的なデータを用いて論理的に話を進めることが大切だと学んだ」、「課題や問題を発見する力が身についた」、「自分に足りない部分を自覚することができた」等のコメントがありました。回答者の半数は、週あたり1~2時間以上の予習復習時間をとっていたと回答しており、受講者の皆さんの努力と協力によって、オンライン授業を進めることができたと思ひます。 また、「授業は役に立つことばかりで良かった」、「先生に質問をしやすけい雰囲気伝わってきたり、zoom授業でもブレイクアウトルームでクラスメイトと親睦を深める時間があつたり、非対面ならではの工夫を感じられて素晴らしいと思つた」、「ディベート、プレゼンテーション、レポートの書き方を説明している資料が授業ごとに配布されていたので、説明が丁寧だったうえ、取り組みやすかつた」、「授業でレポートの書き方について、詳しく説明している資料を掲示して下さつたおかげで、スムーズにレポートを書くことが出来た。ディベートの際にも詳しい説明があつたため、初めてでも迷うことなく取り組めた」等のコメントをいただきました。ありがとうございます。今後も同様の評価を得られるよう、受講者の皆さんからの意見を反映しながら努力したいと思います。
演習Ⅰ	蔣 飛鴻	今回はリモート授業のため、例年の対面授業より低い評価となっている部分があります。この点について反省し、今後、授業の進め方を改善していきたいと思ひます。ご回答どうもありがとうございました。

[2020（後期）人間社会学科 現代社会学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
演習ⅡB	竹内 美香	2020年度は後期も新型コロナウイルス感染症対策下での演習実施となりました。どうなることかと思いましたが、メディア利用ができる利点を駆使して、皆さんとは(寧ろ例年以上に?)「内容の濃い演習」を実施することができました。学生の皆さんとは、PCの画面越しでしたが、緊密な連絡を取り合うこともできたと思います。もちろん対面ならもっと出来たのかもしれないと思うと、少し寂しいですが…。メンバーそれぞれの努力も大きかったです。ゼミは教員がひとりで頑張っても、学びの目標達成はできません。改めて、「あなた」の努力に感謝いたします。 メディア授業にも習熟しました。実は、人間社会学部で育成したいスキルの中心もメディア技術です。どのような環境条件下でも、ものの捉え方一つで「自分の明日を変える」ことはできます。次年度から開始される専門性への入門も、果敢に取り組んで、たくさん経験とスキルを獲得してください。 今回の演習で取り組んで頂いた数々の課題に対するアンケート回答では、概ね「納得解」まで到達出来た様子ですので安堵しました。
特別講義B	高橋 美和	回答者1名のため、アンケートの数値についてはコメントできません。課題へのフィードバックが迅速にできず、最終授業後になったものがあったことは反省点です。元々、ジェンダーに関心があり問題意識のある方々の受講が多く、Zoomで実施した回では、充実した発表や討論になったと感じました。
キャリア・マネジメント論	谷内 篤博	Zoomで授業の途中で質問タイムを設け、例年よりかなりゆっくりした感じで授業を進め、多くの質問がでたが、それでもわかりにくかったようである。質問者が特定の学生に限定され、多くの学生が質問しにくかったようで、大いに反省するところである。もっとわかりやすい授業を心がけていきたい。
演習ⅡB	広井 多鶴子	前期に引き続き、zoomによる双方向型の授業でした。みなさん、出席率もよく、課題にしっかり取り組んでくれました。対面式の通常の授業より、この点はずっと有益ではないかと思えます。ゼミのメンバー同士の交流が十分でないことがやはり一番の難点ですが、ブレイクアウトルームなどを使ってグループワークにもよく取り組んでくれました。
演習ⅡB	松浦 常夫	レポートを書く力がついたという意見が多く良かったです。
演習ⅡB	高橋 美和	課題の多い、ちょっと重めの授業だったと思いますが、全員脱落せず、走り抜きましたね。アンケート数値としては①「授業のスピード」②「説明のわかりやすさ」が若干低くなりました。①は、週によって少し重めの課題になったため、時間が不足気味になったということだと思います。②は、大部分文書で説明したので、もう少しZoomの回数を増やして、口頭で説明しその場で質問を受ける機会をもうけたら良かったのかもしれませんが。皆さんのコメントを読みますと、個人としてのレポート作成力と、グループワークでの協働力の両方で力がついた、という感想が複数見られ、嬉しく思いました。
演習ⅡB	井上 綾野	オンラインのみの実施で、できなかったことも多かったと思いますが、自発的な学びにつなげることができた点はよかったです。
演習ⅡB	金津 謙	貴重なご意見ありがとうございます。今後の授業進行に役立てたいと思います。
国際経済論	吉田 雅彦	経済学の理論の一部としての国際経済論と、為替や通貨制度など、日ごろのなじみが少ない分野での理解が難しかったとの声をいただきました。後半、コシノジュンコさんの生涯からみた国際経済の近代史、為替制度の移り変わりなどはわかりやすく理解が深まったとの声をいただきました。
経営管理論	篠崎 香織	オンデマンド授業で実施したため、内容のわかりにくさ、Q&Aのしにくさなど、対面授業にはないやりにくさがあったかもしれませんが。 難しい内容でも理解につながるような、事例を使うなど工夫を続けていきます。
社会文化事業論	高木 裕子	コロナ禍でのZOOM授業となりましたが、海外からのゲストスピーカーも招くことができ、有益な授業であったと思います。「文化」という曖昧なテーマではありますが、挑戦していきます。
人間教育学概論	広井 多鶴子	オンデマンドによる授業だったので、「双方向」という点ではやや不満が残る結果になったと思います。ただ、ほとんどの人が毎回きちんと課題を出し、ドロップアウトする人も少なく、しっかり学ぶことができたのではないかと思います。そういう意味ではオンデマンドの利点を感じました。2021年度はそれを活かしつつ、体面の授業を工夫したいと思います。

[2020 (後期) 人間社会学科 現代社会学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
多文化社会論	高橋 美和	アンケートの数値はほぼ平均点でほとんどもでしたが、私にとって、受講者約100名で完全オンデマンドという授業が初めてであったため、テクニカルな面で若干皆様にご迷惑をおかけしたことは反省材料です。一方、授業内容については、新しい「学び」「気づき」があったというコメントが多数寄せられ、非常に嬉しく思いました。
演習ⅢB	阿佐美 敦子	リモートという不便な環境でありながら、皆さんはとても熱心にゼミに取り組んでくださったと思っています。回答者全員が、自身の成長を実感できた、授業に満足したと回答していただき、嬉しく思います。例年のようにフィールドワークはできませんでしたが、PC越しであっても多くの外国人の方々と交流できて良かったです。皆、頑張りましたね。
演習ⅢB	角本 伸晃	後期はZoomにもなれてきたので、産学連携を行いました。また、観光関連記事の輪読やプレゼンの仕方など盛りだくさんの内容となりました。しかし、評価は前期より落ちましたが、問15は4.0とまずまずでした。2021年度は対面授業が再開されるので、学生の力がより伸びるような授業を心がけたいと思います。
演習ⅢB	駒谷 真美	回答者が3名のため統計的な結果については言及できない。しかしながら、回答してくれた3名の結果を見ると、全員が全項目において全体平均や当該区分平均より大幅に高評価をしていた。これはゼミ生自身が、個人の卒論では真摯にテーマに取り組み文献やアンケート調査を実施し、研究の手ごたえを掴んでいたからだと思われる。加えてゼミ全体の活動として大学公認メディアプロジェクトJJ Campus Voice!!の一環として、コミュニティラジオ「渋谷のラジオ」で月一回番組ナビゲーターを務め、企画から実施まで成し遂げた達成感があったと考える。回答者数が少ないのは、全講義終了後も年間のゼミ活動記録をデジタルブックで制作中であったため、ゼミは継続していたので、アンケートまで至らなかったと推察する。
演習ⅢB	竹内 美香	新型コロナウイルス感染症対策下でのゼミが継続されました。当初は「遠隔型ではできないこと」を嘆いて教えていましたが、ゼミの皆さんが一つ一つ努力していただき、例年以上の質の高い学びが実現できたと思っています。メディア関連のスキルも獲得することができました。 メンバーのこの演習に対する評価も充分で、担当としてはひとまず安心しました。 後期は例年と遜色なくよい内容で展開できました。既存の学術論文を読み込んでレジュメを作成し、知見をゼミメンバーに説明したのですが、当ゼミは心理学を中心に学ぶゼミとしては先行論文から、調査データの採集と解析・理解するまでの仮説演繹法を経験することは重要な課程でした。つまり論文講読は単なる「課題」ではなく、今後の卒業研究の「お手本」として理解するために行った演習なのです。これからも時々、さらに論文を収集して読むようにしてください。 らに2021年度も学びを続けましょう。
演習ⅢB	時田 朋子	呼びかけが足りず回答率が低かったので、コメントは控えます。受講者が少ない分、一人一人の積極的参加が求められ大変だったかもしれませんが、皆さんがんばりましたね。
簿記論Ⅱ	小澤 康裕	特にありません。引き続き改善します。
現代企業論	吉田 雅彦	履修人数が多く、オンデマンドが中心でしたので不安でしたが、多くの皆さんに満足いただけてうれしいです。競争戦略論は決して簡単ではありませんし、仕事の経験がない中で理解が難しかったかもしれませんが、社会に出てからきつと役立つと思います。
演習ⅣB	阿佐美 敦子	リモートという不便な状況下、各回共に皆で意見を出し合い、良い卒論を仕上げる事ができたと思います。8割を超える方々が自身の成長を実感できた、授業に満足したと回答していただき、嬉しく思います。議論をすることで互いを高め合うという姿勢が素晴らしいです。
演習ⅣB	角本 伸晃	回答者が1人しかいないので、自制的に見ないといけません。問15で5.0の評価となりました。2020年はコロナ禍でオンデマンドの卒論指導となり、対面でのきめ細かい指導ができず、学生にとっても私自身にとっても隔靴搔痒の感がありました。その意味ではゼミ生に大変申し訳なく思います。

[2020（後期）人間社会学科 現代社会学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
演習ⅣB	竹内 美香	2020年度は、まことにどうなることかと思いましたが、それでも私たちは手を止めず、諦めることもなく、卒業研究の取り組みを継続しました。学生自身の努力がなかったら、教員がどんなに頑張っても、卒業論文は仕上がらなかったでしょう。メンバーひとりひとりの努力に感謝いたします。 世界の感染症の情勢の改善には、まだ時間がかかりそうです。 卒業し、社会人となって行くゼミ・メンバー、一人一人の近い未来、遠い未来に思いをいたします。どうか、気をつけて、精一杯の力で社会に貢献してください。卒業研究を、この苦境の中でまとめたことを誇りにしてください。
演習ⅣB	時田 朋子	呼びかけが足りずに回答がなかったのでコメントは控えます。みなさん、卒論の作成と発表、がんばりましたね。
経済学概論	角本 伸晃	経済学概論の内容は数式や計算問題が出てくるので、毎年、厳しい評価となります。今年はさらにコロナ禍でZoomによる授業でしたが、問15では3.92の評価でした。 Zoomでは学生の顔が見えないので、練習問題の解答をresponを通したので、履修者の理解度をリアルタイムに知ることができ、大変参考となりました。来年度は対面授業となりますが、オンライン授業で導入した工夫を継続し、さらに理解度が高まる工夫を導入したいと思います。
地域経済論	山本 匡毅	今回の授業評価アンケートで、授業内容及び全体について、概ね平均以上の評価をいただきました。感謝申し上げます。 今年度は新型コロナウイルス感染症のため、オンデマンド授業となり、受講生の皆様にはご迷惑をお掛けしました。可能な限り分かりやすい講義を心掛けたつもりでしたが、「7. 説明はわかりやすかったですか？」で「どちらかと言えば当てはまらない」という方がいた点は反省事項です。 オンデマンド授業は担当教員も2020年春学期が初めてであり、改善を試みたつもりでありましたが、今後、さらにより良い授業になるように努めたいと考えています。引き続き、積極的な学びを支援していきたいと思っております。
人格心理学	竹内 美香	回答者が少ない中で回答して下さった方には、感謝します。ありがとうございました。 回答者数は少ないのですが、内容の「理解」、科目内容の「目標一致」「講義の速さ」と「説明のわかりやすさ」「満足度」など、今年も概ね十分な評価を頂きました。 2020年度は後期になっても新型コロナウイルス感染症対策下での授業となっていました。授業冒頭で案内したとおり、「それでも受講する」履修者の皆さんの熱意に期待して、少しこの分野の専門的な内容を取り上げ、時には心理学専攻の大学院並みの内容も扱いました。双方向授業後に提出して頂くショートレポートには、決してショートではないものも多く出現し、担当者はいつも励まされていました。 「感情・人格心理学」は概念的定義、理論的理解の変遷、文化と発達、コミュニケーション、生理学的機序など、扱うべき内容も広範囲にわたります。先行研究の学術論文や、専門的資料も読んで頂きました。この授業でお伝えしたことが、これからの「入口」になるとしたら、担当者は嬉しく思います。 さらに学びましょう。
コミュニケーション概論	高木 裕子	コロナ禍での引き続きの後期ZOOM授業となりましたが、対面授業での効果以上のものは難しかったようです。ハイブリッドでうまくできるように改善していきます。
英語コミュニケーションⅡB	阿佐美 敦子 マルチェフ, ミレン・アンゲロフ	リモートという不慣れた環境下、熱心に授業を受けていただいたと思います。こちらからは皆さんの疑問点をすぐに察知し、その場で説明することができませんでしたが、メールのやり取りで、ある程度は補えたかと思っております。 結果として、回答者全員が自身の成長を実感できたと思われ、9割を超える方が授業に満足したと回答して下さり、有り難く思います。来期はさらに工夫をして、より分かり易い授業展開を心掛けたいです。
英語コミュニケーションⅡB	シオティーノ, アン 時田 朋子	予習復習に時間をかけて授業に臨んだ様子がわかり大変嬉しいです。英語力を伸ばすためには日々の学習が欠かせません。わからないことなどは遠慮せずに質問してください。
教育社会学	広井 多鶴子	zoomによる双方向の授業でした。3人だけでどうなることかと思いましたが（学生のみみなさんも）、回を重ねるうちに、発言しやすい雰囲気になり、自分の意見をしっかり発言してくれました。また、やや難しい文献でしたが、文献を読み進めるうちに、かなり理解が進んだと思います。そうした充実感が授業評価の結果に出ていると思います。
演習ⅢB	蔭 飛鴻	1つの項目を除いて、平均をかなり上回っています。今後もよい講義を継続できればと思います。

[2020（後期）人間社会学科 現代社会学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
演習ⅡB	角本 伸晃	コロナ禍でグループワークがほとんどできずでしたが、単独での発表はゼミ生が積極的に取り組んでくれました。問15では4.69と非常に高い評価をしてくださいました。教師の励みになります。2021年度はコロナ禍が収まればグループワークを実施したいと思います。
演習ⅡB	標葉 靖子	双方向+オンデマンド型での授業実施となりましたが、グループ研究と個人研究を通して、他者と意見を交しながら互いに研鑽することの意義を少しでも実感してもらえたのではないかと思います。3年生からは自分で「問い」を立て「答え」ていく探究プロセスがよいよ本格化していきますが、今回の経験を生かして、他者と切磋琢磨しながら頑張ってください。
演習ⅡB	数野 昌三	本演習では、例年グループ作業を実施していましたが、環境の変化により、今年度は、個々人でテーマを設定、問題点を把握、諸問題解決への対策を検討、レジュメを作成し、各人3回発表しました。同様のテーマで、内容を深掘りし、3回発表したことは、自分自身の理解を一層深め、聞き手にとっても理解しやすくするための作業でした。今後は各専門ゼミにおいて羽ばたいてください。期待しています。
演習ⅡB	吉田 雅彦	対面ができなかったため、輪読でのディスカッションは思うようにいきませんが、卒論に向けた学びは、充実したと思います。
フィールドワーク論	原田 謙	アクティブ科目のため、課題も多かったのですが、授業内容と方法に関する評価は、おおむね良かったようです（総合評価は4.57点）。2年生はゼミ活動、3年生は卒論で、この授業で学習した「質的分析」を活用してみてください。
心理学統計法	栗津 俊二	全項目（学生自身の自己採点除く）の平均値が3.5程度以上であるため、授業方法等に特に問題は無いと考えます。学習時間は平均すると1.67時間と適切ですが、2時間超の人も回答者の半分程度いました。また、進むスピードの評定が3.6とやや低めですので、少し量が多かったかもしれません。
演習ⅢB	神山 静香	教員からの告知が十分でなく、アンケートの回答がなかった点について反省しています。オンラインと数回の対面授業となりましたが、受講者の皆さんが協力的に進めてくれたことに感謝しています。対面による授業の回数が少なく、理解度において課題が残ったと思いますが、オンライン授業の経験から得たことやオンラインの活用により効率化できる点は次年度の授業に反映させたいと思います。引き続き皆さんが主体となってゼミ活動を行うことができるよう、一人ひとりの目標や課題を把握しながら、満足度の高い授業が実施できるように心掛けていきたいと思っています。
演習ⅢB	井上 綾野	コロナ禍で、思い通りのプログラムはできなかったかもしれませんが、プレゼンテーション能力が飛躍的に向上した点は高く評価したいと思います。
演習ⅣB	蔦 飛鴻	回答者がいないため、今後、回答するように促す予定です。また、これまで同様により講義を継続できればと思います。
リーダーシップ開発A	標葉 靖子	COVID-19の影響により、双方向+オンデマンドでのPBL実施となったことから、グループワークの難しさがあったかと思いますが、しかしながら、だからこそ、対面の授業よりも意識して積極性や主体性、計画性を発揮できた部分もあったのではないのでしょうか。この難しい状況で「リーダーシップ開発」に挑戦した経験は、対面を含め、様々な場面で活かせるものになっていると思います。みなさんそれぞれの「リーダーシップ」を今後も発揮されていくことを期待しています。
社会調査方法論	原田 謙	授業のスピードや分かりやすさの評価は4.6点を超えており、比較的高評価でした。来年度は、より「自分の成長」が感じられるような仕掛けも考えたいと思います。授業で習った調査方法を、ゼミ論文や卒業論文で活用してください。
社会システム論	篠崎 香織	オンデマンド授業とZoomの授業の混合で、授業取り上げるテーマについて、調べて、発表して、他者の意見も聞いて、再度考えるという良い循環のもとに進められました。皆さんが積極的に授業に参加してくださったおかげです。Responは出席代わりであるため、毎回当日から翌日の五限時、16時半までとじていました（最初にmanabaに掲示）。うまく伝わっていませんでしたので、今後は情報共有を徹底して行うようにしていきます。
応用心理学	松浦 常夫	日常の安全についての理解が深まったようで良かったです。

[2020 (後期) 人間社会学科 現代社会学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
演習ⅣB	井上 綾野	卒業論文の執筆で大変だったかと思いますが、個々の取り組みを評価したいと思います。
演習ⅣB	神山 静香	ほとんどの項目で、回答者の100%から肯定的な評価を頂きました。ありがとうございました。オンラインによる授業は課題も多く、十分な指導ができなかった点も多くありましたが、履修者の皆さんの努力と協力で課題を乗り越え、授業を実施することができました。オンラインの活用により効率化できる点は次年度の授業に反映させ、履修者の皆さんにとって、満足度の高い授業を実施できるよう努力していきたいと思います。
演習ⅣB	数野 昌三	皆さんが頑張ってくれたおかげで、全員が卒業論文を提出することができました。また、体調を崩して発表会に参加できなかった学生もいましたが、発表者全員、上手に発表することができました。コロナ禍により、対面ができず、心配したこともありましたが、あっという間の2年間でした！皆さん、お疲れさん！
社会学概論	原田 謙	皆さんの成績評価は、Bが最も多く、以降A、+A、Cの順になりました。オンデマンド型の授業でしたが、スピードや話の分かりやすさ、配布資料のわかりやすさは4.5点を超えており、比較的高評価だったようです。1年生の皆さんは、来年度以降、詳しく学びたいと思った社会学の選択科目をぜひ履修してください。
社会と統計	竹内 光悦	おおむね好意的な意見が多く、安心しました。皆さんもだったとおもいますが、教員も夜中に寝不足の中、動画作成をしていましたので、このような評価であったことは、工夫したかいがあったと感じます。 調査・分析系の授業は今後も続いていきますので、また別の講義で会いましょう。
メディア・ワークショップ	標葉 靖子	オンラインで受講する学生と対面で受講する学生が混在する中でのデザインワークショップというこれまでにない授業形式でした。色々と授業進行が難しいところもありましたが、学生のみなさんが最後までシリアスゲーム作成にチームで真剣に取り組んでくれたことでプロの方の講評をもらうことのできる成果物になったと思います。一から自分たちで課題を考え、自分たちの力で形のある成果物を生み出す一連のデザインプロセスを回すことは、今後社会の中で求められる重要なスキルの一つです。今回やり遂げたことに自信を持って、さまざまな学習・経験に挑戦していきましょう。
会社法	神山 静香	オンデマンド形式での授業となりましたが、「授業の理解度」や「成長を実感したか」の質問項目で回答者の約8割から肯定的な評価を頂きました。「会社の経営方法など今まであまり知らなかった詳細なことを学ぶことができた」、「裁判の事例などを合わせて学べたため、今後、会社で働く際のためになることを学ぶことができた」、「会社の仕組みや問題点を把握、理解する力が身についた」、「国内・海外で商取引を行う際の基となっている法律の共通点や相違点について学ぶことができた」、「授業を受ける前と受けた後では、会社のことについて知識がついて嬉しい」等のコメントを頂きました。また、「配布資料がとても充実しており、疑問に思ったことを自ら調べる力がついた」、「会社法に関する課題を発見し、論理的に考える力が身についた」とのコメントがあり、受講者の皆さんが自主的に調べたり考えたりすることで、この授業が目標としている内容を修得してくれたように思います。ありがとうございます。 改善点として「資料が多い」とのコメントがありました。授業の特性上、裁判の判決文だけでも数十ページに及ぶことも多く、どうしても資料が多くなりがちですが、この点については、次年度の改善点としたいと思います。効率的に授業を進め、理解度を高めてもらうための事前学習の量について検討したいと思います。
広告・PR論	井上 綾野	対面での授業ができなかった中で、大規模なグループワークに参加していただきありがとうございました。また、興味深い発表も多く、講師の方も感銘を受けておられました。このような機会を通して、より一層社会と広告とのかわりについて考えていただければ幸いです。
国際企業論	吉田 雅彦	教科書が学術的すぎて理解が難しかったとの声をいただきました。来年度以降は、補った教材をベースに、教科書を使わずに、内容は落とさずにわかりやすく伝えていきたいと思います。

[2020（後期）人間社会学科 現代社会学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
経営学概論	篠崎 香織	オンデマンド授業であったため、授業の受けにくさもあったと思いますが、多くの方が積極的に履修してくださいました。ありがとうございます。 課題の指示の出し方、Responの番号の出し方が不適切だったという意見をいただきました。今後改善していきます。 どうか今回少しでも興味を持たれた部分があれば、継続して調べる等続けて下さい。
異文化理解	阿佐美 敦子 時田 朋子	オンデマンド方式でしたが、全ての項目において平均を上回りホッとしました。特に、この科目を専門的に学びたいと考える人が多く、大変嬉しいです。今後、国際化はどの分野においてもますます進んでいきます。学んだことをぜひ生かしてください。 阿佐美：本科目では多様な映像資料をご覧いただけるよう心掛けていますが、今回はリモートのため機材の都合があり、お見せしたいものを扱うことができずに残念でした。にもかかわらず、86%を超える方々が授業を通じて成長を実感できたと答えてくださり、とても嬉しく思います。来年度も皆さんの異文化交流に役立つ授業を展開していきます。
言語コミュニケーション開発支援論	高木 裕子	コロナ禍でのZOOM授業で、本来ならば言語ゲームなどを通じ、実際の面での理解や力を付けて頂きたかったのですが、残念です。非対面でできるものには限度と限界がありそうです。
心理アセスメント法	佐藤 恵美	みなさん、こんにちは。 と、言っても一度もお会いできませんでしたね。本当に2020年度は私自身もさみしい授業でした。 アンケートを拝見したところ、皆さんは資料をわかりやすいと回答して下って本当にうれしいです。私自身は話さないのでもこまで説明できるか不安でしたが、勉強時間が1時間以上と回答して下さり、資料をしっかりと参考にしてくださって本当にありがたいです。 今日は第3回公認心理師の合格発表日で、合格率は約53%でした。皆さんも受験する機会がありましたら、この資料を見直して勉強して下さるとうれしいです。 受講して下さい、本当にありがとうございました。
法律学	数野 昌三	2020年度後期「法律学」は、環境の変化により、Zoom授業を実施しました。例年であれば、受講生の顔を見ながら、つまり理解度を見ながら進行していくのですが、パソコンを見ながら一方的に進行していくため、理解しにくかった点があったかとも思います。 また「法律」と聞くと、法学部以外では堅苦しく自分たちには縁遠い存在とイメージする学生がほとんどです。しかし、条文解釈は難しいものの、自分たちの身近に存在し、日常生活上必須であることが理解できたことは、今後、法律を学ぶうえで重要なことと思います。 難しいという苦手意識をなくし、法律科目を受講していきましょう。
原価計算論	蔣 飛鴻	総合評価では当該区分平均の4.14に対して、この科目は4.50と高くなっており、すべての項目においても平均をかなり上回っています。今後もよい講義を継続できればと思います。
消費者心理学	井上 綾野	対面での授業ができず残念でしたが、消費者の行動や心理について引き続き興味関心を持ってもらえる幸いです。
心理学概論	松浦 常夫	心理学の様々な分野についての知識や理解が得られたようでよかった。
心理学実験Ⅱ	粟津 俊二	全項目(学生自身の自己採点除く)の平均値が3.5程度以上であるため、授業方法等に特に問題は無いと考えます。なかなかへビーな課題をしてもらいましたので、平均学習時間もそれなりに長くなっています。皆さん、なかなか頑張ったと思います。
会計学総論Ⅱ	蔣 飛鴻	総合評価では当該区分平均の4.14に対して、この科目は4.33と高くなっており、ほとんどの項目においても平均を上回っています。今後もよい講義を継続できればと思います。
社会調査実習Ⅱ	竹内 光悦	この講義に関しては特に「おつかれさまでした」と思います。当初、これはオンラインでは厳しいのではとも思いますが、みなさんの協力もあり、例年通り、場合によってはいつも以上の結果が得られたようにも思います。評価も比較的悪くなく、しいて言えば調査実習の授業ですので、もう少し回答率が高いとよかったかなと思います。 ここで学んだことを踏まえて、卒業研究等でも頑張ってください。

[2020（後期）人間社会学科 現代社会学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
演習ⅣB	駒谷 真美	今回は回答者がいなかった。この原因としては、例年だと最終講義に時間を取ってアンケートを実施していたが、本年度はコロナ禍でもあるためZOOM卒論発表会を講義最終回に行い、アンケートを講義内で実施できなかったためと考えられる。次年度からはアンケート実施の予定を早めに組み込もうと思う。
現代日本経済論	角本 伸晃	この授業はZoomで講義を録画したものをオンデマンドで視聴してもらう形式でした。履修者の反応がわからないので、一方的な授業になっていたのではないかと危惧しております。しかし、問15では4.47とかなり高い評価でした。2021年度は対面授業の予定なので、履修者の反応を見ながら授業を進めていきたいと思います。
グローバル・スタディーズ	神山 静香	オンデマンド形式での授業となり、理解度等の点において課題が多かったと思いますが、「理解度」や「説明、資料のわかりやすさ」等、ほとんどの項目で肯定的な評価を多く頂きました。ありがとうございました。「授業を通じて自分自身の成長を実感できたか」との質問では、回答者全員から肯定的な評価を頂き、嬉しく思いました。受講者の皆さんが自主的に調べたり考えたりすることで、この授業が目標としていることを修得してくれたように思います。各回で実施したアンケートにも興味深い意見が多数ありました。オンラインの活用により効率化できる点は次年度の授業に反映させ、履修者の皆さんにとって、満足度の高い授業を実施できるよう努力したいと思います。
家族法	数野 昌三	2020年度「家族法」は、環境の変化により、例年の対面授業と異なり、Zoom授業を実施しました。家族法、具体的には、夫婦（婚姻・離婚）、親子（実子・養子）、相続（法定相続・遺言）について、改正法および判例を含め学び、一層身近な分野の法律であり、重要であることを理解できたと思います。まだまだ身近な問題として考えることは難しいと感じる学生がいらっしゃるかとも思いますが、必ずしや巡って来る問題ですので、各自、理解しやすい書物を手に取り、勉強を継続していきましょう。
演習ⅣB	竹内 光悦	さすがに1人も答えていないのは初めてです。調査・分析系のゼミとしてどうしたものかと思いますが、とりあえず…。ご卒業、おめでとうございます。
演習ⅢB	高橋 美和	回答率40%なので、全体を反映してはいないとは思いますが、平均値を全項目上回りました。対面授業が一度もなく、それを残念に思う方々はいましたが、Zoomであっても、出席率も討論参加度も高く、卒論の方向性も各自固まりましたので、全体として良かったと思います。4月からの「演習Ⅳ」を対面で実施できるのが楽しみです。
演習ⅢB	数野 昌三	例年と異なり、今年度は対面授業。合宿、見学等ができず、ただ輪読という作業で、アツという間に2020年度1年が過ぎてしまいました。最終学年はより一層短く感じると思います。検定試験、就職活動、そして卒業論文完成に向け、早期からいろいろと計画を立て、進めていきましょう！
演習ⅢB	竹内 光悦	2人しか答えていないため、次年度はぜひ回答をお願いします。もちろん直接、言っているのではなかったという人もいるかもしれませんが…。これから就活、そして次年度は卒業研究と進みます。引き続き、頑張りましょう。
演習ⅢB	松浦 常夫	4年生ではいよいよ卒論ですね。就活と共に、楽しみながらがんばりましょう。
演習ⅢB	吉田 雅彦	対面ができなかったのが、グループディスカッションが少なかったのですが、個別での卒論、就活に向けた意思共有は充実したと思います。
ソーシャル・デザイン・プロジェクト	標葉 靖子	この授業が今までにない視点で社会の課題に向き合う経験になったのではないのでしょうか。これからも社会の多様な側面や課題に目を向けていってください。
演習ⅣB	高橋 美和	ほぼ平均値上でしたので、数値としてはまずまずかと思えます。主として卒論の個人指導となりましたが、執筆スピードが早かった方々へのコメント・指導が遅れ気味でお待たせした時間が長かったかもしれません。いずれにしても、私からのコメントや提案（無理難題？）をその都度真面目に受け止め検討し、ちゃんと卒論に反映させた皆さん全員、素晴らしかったです！そうですね、カンボジア合宿が実現できなくて、私も残念でした。

[2020 (後期) 人間社会学科 現代社会学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
演習ⅣB	松浦 常夫	卒論の作成、ご苦勞様でした。
演習ⅣB	吉田 雅彦	就活、卒論お疲れさまでした。